

市議会だより なかま

No.177

Shigikaidayori NAKAMA

2021.2.10

<http://www.city.nakama.lg.jp>



中間中学校3年生が議場見学に

中間中学校3年生の46人が社会科の授業の一環として議場見学に訪れました。職員からの議会の役割などの説明を受けた後、生徒の中から議長を選挙し、本番さながらの模擬議会を行いました。市長役の先生が「中間市ゲームで遊ぶ時間を制限する条例」の提案理由の説明を行い、議員役の生徒からは「ゲームの定義」などについて、多くの質問がされました。



■ 12月定例会の概要と議決結果	2
■ 一般質問	5
■ 中間市議会からのお知らせ	8

12月定例会の概要と議決結果

12月定例会の概要（12月8日～12月22日）

令和2年第6回（12月）定例会におきましては、専決処分の承認2件、議案17件、請願1件、意見書案4件が提出され、12月8日から22日までの15日間をかけて審議されました。

12月定例会において、審議された主なものについて、ご紹介します。

○ 可 決

令和2年度中間市一般会計補正予算（第7号・第8号）

【歳出の主なもの】

・ひとり親世帯臨時特別給付金の給付事業・・・・・・・・ 3,300万円

新型コロナウイルス感染症対策として、国の方針に則り、低所得のひとり親世帯に対して1世帯当たり5万円、更に2人目以降の子供につき1人3万円を追加支給します。

※本事業については、令和2年12月25日に支給いたしました。

・新生児特別定額給付金事業の対象出生日の延長・・・・・・・・ 990万円

新生児特別定額給付金（給付額10万円）の給付対象となる新生児の出生日を令和3年3月末日までに延長しました。

・高齢者等へのPCR検査費用の助成事業・・・・・・・・ 690万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、自覚症状がなく、検査を希望する高齢者等に対しPCR検査費用の一部を助成します。（自己負担額7,500円）

対象者…中間市に住民票がある方で、自覚症状がなく、次のいずれかに該当する方

ア 65歳以上の方

イ 基礎疾患を有する方（60歳から65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器の機能に障害を有する方（身体障害者手帳1級に相当））

○ 可 決

中間市子ども医療費の支給に関する条例の一部改正

子どもの疾病の早期発見、早期治療の促進及び子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、子ども医療費の助成対象者の拡大及び助成額の拡充を行います。

改正項目	令和3年4月1日以降	現 行
通院に係る助成対象者の拡大	中学校3年生まで	小学校6年生まで
中学生の助成額	【通院】 1つの医療機関において、ひと月当たりの本人負担額が1,600円を超える部分を助成	【通院】 助成なし
	【調剤】 自己負担額の全額を助成	【調剤】 助成なし
入院に係る助成額の拡充 （3歳から中学生まで）	自己負担額の全額を助成	自己負担額の月額 3,500円を超える 部分を助成

12月定例会の概要と議決結果

○ 可決

中間市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部改正

福岡県の重度障がい者医療費支給制度に係る補助基準の改正に伴い、入院に係る助成基準等の特例の対象者の拡大を行います。

改正項目	令和3年4月1日以降	現行
助成対象者の拡大	中学校3年生まで	小学校6年生まで

○ 可決

中間市総合会館条例の制定

令和3年4月1日から中央公民館の機能をハピネスなかまに移転するに当たり、これまで福祉に特化して運営されてきました「ハピネスなかま」を、市民の健康保持、福祉の向上、市民の文化活動の増進を図るための総合的な複合施設とします。

委員会報告

【 中央公民館の移転について ～総合政策委員会～ 】

令和2年12月14日に開催されました総合政策委員会において、中央公民館の移転に伴う利用者の利便性の向上を図るための方針について、生涯学習課から次のように説明がありました。

① ハピネスなかまへの交通手段について

令和3年4月1日から、ハピネスなかまに移転する中央公民館及び生涯学習センターを利用する人も「ハピネス号」に乗車することができるようになります。



ハピネス号



ハピネスなかま駐車場

② ハピネスなかまの駐車場について

ハピネスなかま及び生涯学習センターの駐車場が混雑することが予想されることから、満車の場合は近隣の有料駐車場を利用する予定です。

③ ハーモニーホールの利用区分の見直しについて

中央公民館の代替施設である「なかまハーモニーホール」において、会議室等の一部施設の利用区分を見直し、1時間単位での貸出しを可能にする予定です。



なかまハーモニーホール

12月定例会の概要と議決結果

12月定例会の議決結果

議案番号	議案名	議決結果
承認第9号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (令和2年度中間市一般会計補正予算(第6号))	承認
承認第10号	専決処分を報告し、承認を求めることについて (中間市一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	承認
第59号議案	令和2年度中間市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
第60号議案	令和2年度中間市特別会計国民健康保険事業補正予算(第3号)	原案可決
第61号議案	令和2年度中間市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
第62号議案	令和2年度中間市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第63号議案	中間市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第64号議案	中間市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第65号議案	中間市債権管理条例等の一部を改正する条例	原案可決
第66号議案	中間市子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第67号議案	中間市重度障害者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第68号議案	中間市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
第69号議案	中間市火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
第70号議案	中間市病院事業の設置等に関する条例及び中間市立病院使用料及び手数料条例を廃止する等の条例	原案否決
第71号議案	中間市総合会館条例	原案可決
第72号議案	公の施設の指定管理者の指定について(中間市チャレンジショップ)	原案可決
第73号議案	中間市道路線の認定について	原案可決
第74号議案	中間市道路線の変更について	原案可決
第75号議案	令和2年度中間市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
請願第4号	中間市立病院廃止に反対し、地方独立行政法人化による公立病院としての存続を求める請願	不採択
意見書案第12号	義務教育での20人学級を求める意見書	原案否決
意見書案第13号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書	原案否決
意見書案第14号	住まいと暮らしの安心を確保する居住支援の強化を求める意見書	原案可決
意見書案第15号	不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	原案可決

【議案の計数整理について】

「第59号議案」及び「第75号議案」については、議決順番の関係上、議案の内容に変更すべき事項が生じたため、議長において、議案名、字句、数字等の変更を行いました。

【本会議及び委員会の傍聴について】

- 中間市議会では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次のような対応を行っています。議会を傍聴される方にはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。
- 本会議の傍聴席に間隔を空けており、座席数を少なくしています。議事堂への入場制限により入場できない場合があります。
 - 委員会の傍聴を当分の間、取りやめます。

【本会議中継の視聴について】

中間市議会では、議会の本会議のライブ中継を「なかまハーモニーホール」、「ハピネスなかま」、「地域交流センター」でご覧いただけます。なお、施設の休館又は新型コロナウイルス等による施設の閉鎖によりライブ中継をご覧いただけない場合がありますので、ご了承ください。また、本会議の録画中継を本会議後の3日後からホームページでご覧いただけます。



議会中継
QRコード

植本種實議員

(明政クラブ)



通勤手当・住宅手当の見直しについて

財政状況が苦しい中、行政職員も身を削る改革として通勤手当・住宅手当の見直しを行うべきだと思

ますが、どのようにお考えですか。

市長 県内において、国の基準以下の手当を支給している市町村がないこと、優秀な人材確保のためにも見直しについては慎重に検討しています。

職員の市内居住について

前回の一般質問で、市外居住の職員に対して市内居住の呼びかけをすると言われたのですが、その後はどのようににされましたか。

市長 全職員に対して市内居住の呼びかけを行いました。また、

一部の職員に対しては市外居住の理由の聞き取りも行っています。

市立病院移譲の「白紙」について

市立病院の民間移譲が白紙になりましたが、移譲が合意できなかった原因は何ですか。

総務部長 主な理由としては財政支援の項目であり、新病院建設費用について合意に至らなかったことが最大の理由です。

議員 市立病院の廃院は市長の公約とは真逆のことであり、公約違反ではありませんか。

市長 市立病院の建て替えではなく、民間移譲により新病院を建設していただく判断をしましたが、民間移譲が白紙となり、

今年度末をもって市立病院を閉院せざるを得ないという残念な結果となりました。市内及び近隣の医療機関に協力をお願いして、市立病院を受診している患者様が引き続き安心して医療サービスを受けられるように努めて参ります。

議員 民間移譲が白紙になったから市立病院を廃止するというのは配慮がなく、無責任だと思えます。独立行政法人化など他に選択肢はなかったのですか。

市長 独立行政法人化や、市立病院の機能を外来のみに縮小して運営する等の案も検討いたしました。どちらも安定した経営ができる見込みが立たなかったことから、今年度をもって市立病院の閉院はやむを得ないと判断しました。

掛田るみ子議員

(公明党)



子どもを虐待から守る条例の制定について

中間市の児童虐待防止のための施策とそとの取組について伺います。

子ども未来課長 妊娠

期から相談・訪問等によるサポートを行っている。本市独自で行っている未就園児を対象とした子育て応援訪問では、児童の目視だけでなく、子育て情報誌の配付や相談、必要な場合には適切な関係機関を紹介するなどの支援に努めています。

また、市だけでは対応が困難な事例については関係機関と連携を密にし、虐待の早期発見、防止に取り組んでいます。

議員 中間市で発生した虐待事件を忘れず、今後の市政にも生か

相談体制は整備されているか伺います。

健康増進課長 庁内の相談体制については、各課でリスクの把握とその対応について具体的な取組を掲げており、ハイリスク者への適切な支援の提供や専門機関との連携に努めています。

議員 中間市自殺対策行動計画の巻末に各種相談窓口の電話番号一覧がありますが、市民の大半はこれを目にするのではないと思われ。このような相談窓口の情報を知りたいのかに行っているのか伺います。

健康増進課長 本市のホームページなどで各種相談窓口等の周知を行っています。

また、自殺対策啓発期間等には国や県のポスター掲示や関係機関窓口にチラシを配架するなど、周知に努めています。

命を支える自殺対策について

コロナ禍での社会情勢や生活困窮などの影響が顕在化してくる。各部署の連携等

田口澄雄議員

(日本共産党)



学校の再編問題について

今なぜ、学校施設の整備を見直す必要があるのか、その考え方についてお聞きします。

教育長 本市の小中学校の多くは築50年を迎えており、老朽化が進んでいます。また、児童生徒数の減少に伴い学級数も減少しています。さらに、学習環境の多様化への対応や、施設整備の充実など、教育環境の諸問題を総合的に解決するため、学校施設の再編を考えていく必要があると判断しました。

程度やむを得ないところは減らすという選択はなかつたのでしょうか。

教育施設課長 現在の子ども数、そして、40年、50年先の数も見据え、現在だけでなく、未来の子どもたちに適した学校数等を検討した結果によるもので、あらかじめ何校減らして何校にするといった議論は行っていません。
新型コロナウイルス感染症に対する中間市の財政対応について

コロナ対応について、近隣市町では国からの交付金だけでなく、独自に予算を組んで支出している自治体が目立ちます。中間市もこのような手厚い対応をすべきではないでしょうか。

総務部長

本市におけるコロナ対策につきましては、国が定めた方針等に基づき、新型コロナウイルス

感染症対応地方創生臨時交付金を活用して市民生活を守ることを第一に考え、様々な施策を実施しています。この財源の効率的運用を行うため、実施事業を感染拡大の防止、雇用の維持と事業の継続、経済活動の回復、強靱な経済構想の構築の4つのステージに分けて、計画的に市民生活の下支えとなるよう、予算措置を行っているところであります。

議員 市としての財政も大事ですけども、財政サイドからだけ見るのではなく、市民生活の今を大事にした考え方の上で、将来の中間市をどうするか見据えてほしいと思います。

柴田芳信議員

(日本共産党)



市立病院問題について

今回の新型コロナウイルスの発生も、今後もしも新たな感染症に対応していくためにも、市立病院は必要ではないでしょうか。

理者制度もしくは民間移譲での経営形態の変更が必要であるとされていますが、公立病院を残そうという検討はされたのでしょうか。



あり方が検討されている
中間市立病院

市立病院長 感染症の拡大早期は公立の医療機関の初期対応が早く、よいと思われるますが、必ずしも民間医療機関が対応できないわけではなく、その対応が可能であるような医療供給体制を民間と公的なものが協力して構築することが何よりも大切であると考えます。

市立病院長 私ども病院職員は常に市立病院をいかにして存続させるか、新病院をいかにして建設可能とするかを念頭に活動しています。医師の退職による減収を補填できずに赤字決算となつていますが、医師1人当たりの患者数の増加、職員研

修の実施や人件費の削減など、市立病院を存続するための努力は今もつづけています。あり方検討委員会の開催は市立病院存続を目的としたものであることをご理解ください。

議員 医師の確保については、あり方検討委員会に協力していただいた産業医大の教授の方にも力を借りることはできなかったのではないのでしょうか。

市立病院長 産業医大をはじめ、複数の大学等に常勤医師の派遣をお願いしております。市長に同伴していただくこともあります。新研修医制度の導入以後、いまだに大学医局において医師の確保が難しく、常勤医師の派遣については、受けるに至っておりませんが、非常勤医師の派遣や病診連携による患者紹介等の協力はいただいております。

小林信一議員

(中間クラブ)



教育の現状について

本市と連携協定を締結したソフトバンク株式会社とのペーパーと、市内の企業さんから寄贈をしていたロボットを活用している状況について伺います。

学校指導課長 11月に市内6小学校の5年生全学級でロボットを活用したプログラミング教育を実施しています。来年度に活用したプログラム教育は、各小学校の高学年を中心に実施するとともに、教育活動の様々な場面で活用を検討したいと考えています。

議員 今年度の小中学校の消耗品費が大幅に削減されています。来年度の予算確保についてどのように考えていますか。

教育部長 市全体の財政状況を鑑み、教育部全体として感染症対策や学習保障など、各校の実状に応じて学校教育が円滑に進むよう、市の限りある財源の中から、学校予算の確保に努めて参ります。

小中学校の再編について

小中学校の再編について、教育委員会としてどのような考えをお持ちか、どのような作業を進めているのか伺います。

教育長 令和元年度に学校再編の検討に必要な素案である中間市学校施設整備基本計画案を作成しました。この案に基づき、有識者等で構成される中間市学校施設再編基本計画策定委員

会を設置し、学校施設再編のあり方について十分に議論して、来年度の早い時期に再編基本計画を策定したいと考えています。今後、中間市で学ぶ子ども達のために施設設備の充実を図り、よりよい学校づくりを進めたいと考えています。

議員 学校の再編につきましては、私は再編ありきで挑むべきだと思っております。

一クラスの子どもが少な過ぎると、お互いに競い合うと高めあうところが育たず、それが学習の場にも影響してきます。子どもや親のことを考えると、安易に再編できない部分があります。中間市の状況をみると、どこかで踏み切らざるを得ないと思えます。大変だと思えますが、子どもに良い環境づくりを徹していただきたいと思えます。

草場満彦議員

(公明党)



かわまちづくり支援制度について

国の支援制度である「かわまちづくり支援制度」に登録された2年が経過しようとしています。登録後の中間市の取り組みを伺います。

企画課長 令和2年2月に推進協議会を開催し、スケジュールを話し合った結果、今後、作業部会を設立して利活用・整備・維持管理内容を協議し、協議結果を推進協議会に報告することになりました。

議員 この2年間で作業部会とは、あまりにも遅すぎます。中間市は財政的に厳しい状況下であり、短期で新規事業等がでないことから、国の支援事業については支援制度を十分に

活用すべきと思います。ですので、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

遠賀川の治水について

今後の治水に対する国の取り組み、本市から国への要望等の上程状況について伺います。

建設産業部長 流れる水量が少ない場所において国が河道掘削工事を行っています。が近年、整備計画を上回る雨量となっており、現在の整備計画を見直し、新たな整備計画に基づいた対策が実施される予定となっています。また、本市から国への要望としては、水路の浚渫などの維持管理に要する費用の支援や、下水道などから水が溢れる水害を防ぐための

内水対策事業を創設するなどの幅広い財政支援をお願いしているところです。

中間市公共施設等総合管理計画について

個別施設計画の策定状況の現況と今後の取り組みについて伺います。

公共施設管理室長 令和元年度に施設の老朽化状況を把握するため現地調査を行い、令和2年度には現地調査結果に基づき、施設ごとの具体的な最適化方針を決定し、個別施設計画を取りまとめる予定です。策定後は計画に基づき、施設の長寿命化の最適化を進めて参りたいと思えます。

安田明美議員
(福祉クラブ)



高齢者の見守り活動について

新型コロナウイルス禍における中間市での見守り活動の現状について伺います。

介護保険課長 見守り隊の方々は訪問時も距離を空けて様子を伺うなど、制限を受けながらも活動を実施されています。

通谷電停横断歩道橋の安全対策について

平成31年2月の全員協議会で通谷電停横断歩道橋の改修・撤去について話がありました。現在の状況を伺います。

建設産業部長 改修について検討した結果

改修に多額の工事費を必要とすること、また平成31年度に新設の横断歩道が設置され、一連の歩道の導線が確保できたこと

とから、撤去と決定し、現在準備を進めています。



昭和56年に設置された通谷横断歩道橋

中間市立病院の廃止問題について

市長の就任以降、本市の財政状況の悪い中、市立病院の赤字が続いています。市立病院の健全経営に向け、どのような対策を講じられてきたか伺います。

市立病院事務局長 経営

悪化の最大の要因である常勤医師の不足解消に努めています。現在も医師確保には至っていません。また、透析実施数や

訪問診療の増加に取組み、収益の向上を図るとともに支出の削減も行っていますが、常勤医師という収益の大きな柱を失ったことによる億単位の減収を解消するまでに至っていません。

議員 独立行政法人化による再建策などを考えられなかったのか伺います。

市立病院事務局長 独立

行政法人化は、移行準備期間中に引き続き大きな経営赤字を計上する可能性が非常に高いこと、独法移行後の最高責任者である理事長職において病院経営に精通した人材の確保が極めて困難であること、新病院の建設において事業収益から数十億円という建設費用の返済が困難であること等の理由により、今後の選択肢としては厳しいと判断しました。

市議会会議録は閲覧ができます。



市議会会議録

市議会だよりは、本会議の質問や答弁を要約して掲載していますので、詳しい内容は、会議録をご覧ください。

会議録は、議会事務局や情報公開コーナー、市民図書館で閲覧することができます。また、中間市のホームページにも会議録を掲載しています。



会議録 QR コード



次の定例会

次の定例会は、3月2日(火)から開催します。

議員の一般質問は3月4日(木)午前10時から行います。

本会議及び委員会の日程は決まり次第、中間市のホームページに掲載します。

問合せ先：議会事務局 ☎ 246-6220



会期日程 QR コード

残念ながら、水と空気には印刷できません…



(有)日高印刷所

〒809-0034 福岡県中間市中間一丁目 4-16
HP▶http://www.hidaka-print.com/

TEL (093) 245-0214
FAX (093) 244-8760



■点字・声の市議会だよりなかまを発行しています

目が不自由な人に「市議会だよりなかま」を点字または朗読テープにしてお届けします。詳しくはお問い合わせください。
[問合せ] 議会事務局 ☎ (246) 6220